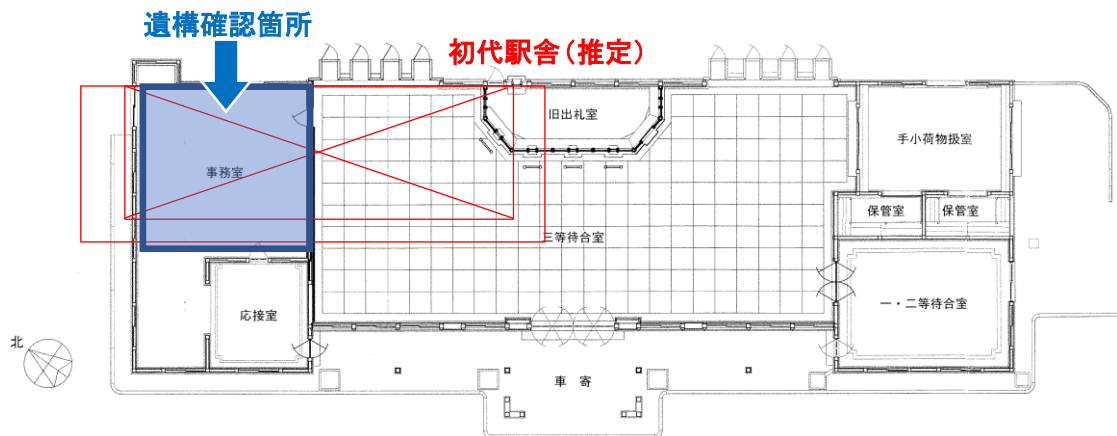


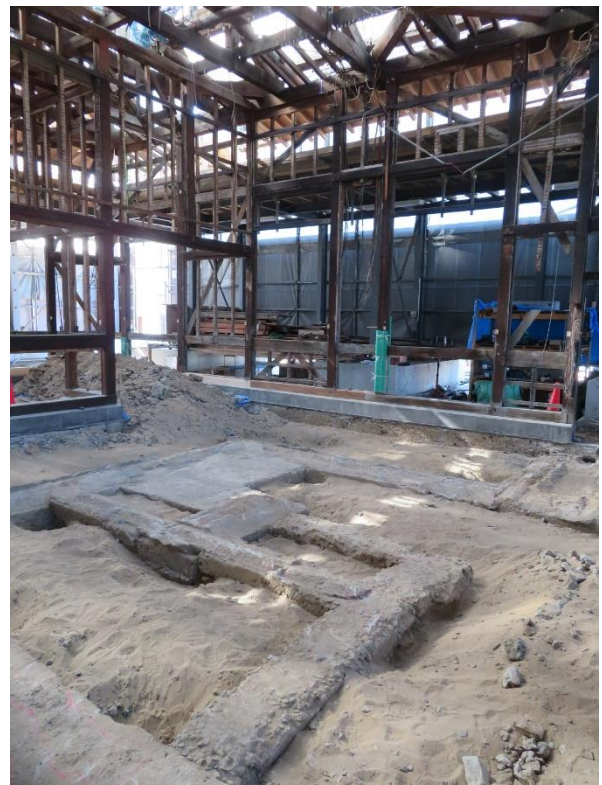
重要文化財旧大社駅保存修理事業 初代駅舎の遺構の確認について

1. 確認状況

重要文化財旧大社駅保存修理事業において、耐震補強工事の施工にあたり、鉄骨フレームを設置する3箇所について、土間コンクリートを解体したところ、1箇所（事務室）の地中から初代駅舎のものと推察される遺構（建造物の基礎部分）が確認されました（令和5年1月24日）。



旧大社駅 初代駅舎（建設当時：明治45年）



初代駅舎の遺構

2. 今後の方針

重要文化財旧大社駅本屋耐震補強工事は、当該建造物を保存継承していくために重要な事業です。

一方で初代駅舎にかかる歴史資料は、これまでは「古写真」「図面」のみであり、今回確認された当該遺構は貴重な歴史資料です。

こうした状況を踏まえ、当該遺構の取扱いについては、調査を実施したうえで、遺構の一部を旧大社駅の敷地内に移設し保存する方向で、文化庁及び島根県と協議をしています。

3. 市民への公開

今回確認された遺構については、3月21日（火・祝）に「旧大社駅初代駅舎遺構見学会」を開催して公開し、約140人の来場がありました。